学校番号	１００１

令和５年度　　看護科

教科	看護	科目	基礎看護（基礎看護－２）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	基礎看護（教育出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では看護の意義と役割、基礎的な知識及び技術を学習する。
・各自ノートを用意すること。
・実習後には毎回実習レポートを書いて提出する。
・実習で使用する必要な物品を毎回各自持参する。消耗品をまとめて購入する際に実習費を徴収することもある。

2　学習の到達目標

・看護の意義と役割を理解し、看護に関する基礎的な知識と技術を修得する。
・現代医療における現状や課題について考え、看護を適切に行う態度を養う。
・知識と技術の根拠を大事にするとともに、考えながら行動できる力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	看護の意義と役割について関心を持ち、看護の改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、現代医療における様々な課題について追求しようとする。	看護の意義と役割について考えを深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して看護活動を適切に判断し、創意工夫する力を身につけている。	看護の基礎的・基本的な技術を身につけ、実際に看護を行うにあたり合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果をわかりやすく表現する。	基礎看護に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、看護の意義や役割及び根拠を理解している。
評価方法	実技テスト 実習レポート	定期考査 実習レポート	実技テスト 実習レポート	定期考査 小テスト 実習レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	診療と看護	感染の成り立ち 手洗い、消毒、無菌操作	○ ○	○ ○	 ○	○ ○	a:感染の成立に関心をもっている。無菌法と院内感染の予防について意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。 b:感染の成立について思考を深めることができる。感染予防の原則に基づき、適切な感染予防の方法を判断することができる。 c:無菌操作や消毒液を作ることができる。ガウンテクニック、手洗いを行うことができる。 d:感染予防の原則を理解し、手洗い、ガウンテクニック、無菌操作に必要な知識を身につけている。	実技テスト 実習レポート
	日常生活と看護	食事介助 口腔の清潔(歯磨き) 排泄介助	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:日常生活行動と健康との関連に関心を持っている。対象の状態に応じて日常生活の援助後術を意欲的に習得しようとする。 b:日常生活行動に影響を及ぼす因子と援助について科学的根拠を元に思考することができる。 c:科学的根拠を踏まえ、対象の状況に応じて安全・安楽を配慮した日常生活の援助を行うことができる。 d:日常生活行動の意義と対象の状態に応じた援助の必要性を理解している。	実習レポート

前期	診療と看護	バイタルサイン	○	○	○	○	a:体温、脈拍、呼吸、血圧（以下、バイタルサイン）とその影響因子について関心を持っている。測定技術の習得に意欲的である。 b:バイタルサインに影響を与える因子について思考を深め、影響を最小にするような測定方法を創意工夫することができる。 c:安全・安楽に配慮してバイタルサインを測定し、結果を適切に記録・報告することができる。 d:それぞれの測定の原理や患者の諸条件及び器具の操作と手順に関する知識を身につけている。	実習レポート
後期	診療と看護	包帯法 救命処置	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:患者の生理機能を妨げないように包帯を適用する技術の習得に意欲的に取り組む。救命処置の意義、役割を理解し、技術を習得する意欲がある。 b:状況に応じた包帯法、救命処置ができる。救命患者とその家族の心理について思考を深めることができる。 c:包帯の目的、種類に応じて患者の生理機能を妨げないように包帯を適用することができる。状況に応じた救急処置を行うことができる。 d:包帯法や救急処置の意義及び看護者の役割を理解している。救急患者とその家族の心理面に対する配慮の必要性について理解している。	実習レポート 実技テスト

後期	診療と看護	検査 与薬	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:検査の意義や患者の心理に関心を持っている。薬物の効果や管理について関心を持ち、安全で正確な与薬を行うための実践的な態度を身につけている。 b:患者の不安や苦痛を軽減し、診療が円滑に行われるような援助方法を判断することができる。一連の与薬の過程における看護者の役割について思考を深めることができる。 c:患者の苦痛や不安の軽減を考えた診察介助ができる。安全で正確な内服薬の与え方、薬物の管理・取り扱いができる。 d:安全かつ正確な薬物の取り扱いに関する知識を身につけている。与薬や検査の課程における看護者の役割を理解している。	実習レポート 小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。